

1. 科目名 (単位数)	簿記 (4 単位)	3. 科目番号	SBMP2132
2. 授業担当教員	武田 嘉孝	5. 開講学期	春期
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答、問題演習などを併用し、期末に試験を行う。		
6. 履修条件・他科目との関係	「簿記」履修後、「会計学」を履修すると理解力は増大する。		
7. 講義概要	<p>簿記は、事業経営における日々の取引を記録し、経営成績や財政状態を把握するための財務諸表にまとめるための基礎部分を構成する、実務的には非常に重要な部分を占めるものです。簿記を学ぶ上では、机上で学ぶことに加え、実際に手を動かし、電卓を叩いて、実践することが大切です。</p> <p>この講座では、1 コマ目の前半 30 分間を用いて、毎回確認テストを行い、確認テストを解説した上で、2 コマ目で新たな分野を学習します。</p> <p>この講座を受講する学生は、毎回電卓 (できれば 10 ケタ以上の電卓を用意して欲しい) を持参して下さい。</p>		
8. 学習目標	<p>1、簿記の仕組みを理解し、簡単な仕訳を正確にできるようになる。</p> <p>2、財務諸表の仕組みを理解し、自分で作成できるようになる。</p> <p>3、日商簿記 3 級程度の内容を理解できるようになる。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	アサインメント及びレポートについては、時には提出を求めることがある。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 武田嘉孝著『簿記原理』中部日本教育文化会、2017。 渡部・片山・北村編著『簿記ワークブック 3 級商業簿記』中央経済社、2017。</p> <p>【参考書】 授業内で適宜指示する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の基準</p> <p>1. 毎回の小テスト、復習問題及び期末試験において、基本的な仕訳を理解し、正確に仕訳を切ることができるか。</p> <p>2. 日常的な仕訳の成果として、精算表や財務諸表を作成することができるか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 授業への積極的参加 総合点の 10 %</p> <p>2. 毎回の小テスト・復習問題の理解度 総合点の 30 %</p> <p>3. 期末試験 総合点の 60 %</p>		
12. 受講生へのメッセージ	授業をただ受動的に聴くだけでは簿記の技法は身に付くものではない。ワークブックおよびテキストに示した重要項目の処理方法を、その通りに実施することによって身につけられる。学ぶよりも真似ることが重要。		
13. オフィスアワー	授業中に別途通知する。不明箇所があったらその時間が終了後に必ず質問に来るようにしてほしい。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション(講義概要の説明) 簿記の意義	事前学習	簿記学習の心構えの話をする。
		事後学習	勘定と勘定科目の意味を理解する。
第 2 回	財産の変動と貸借対照表	事前学習	資産・負債・純資産の勘定を覚える。
		事後学習	財政状態の意義・貸借対照表の役割を知る。
第 3 回	収益・費用の発生と損益計算書	事前学習	損益計算書の性格を知っておく。
		事後学習	損益計算書に計上される勘定の種類を学ぶ。
第 4 回	簿記上の取引	事前学習	貸借対照表と損益計算書の仕組みを把握する。
		事後学習	取引要素の結合関係を学習する。
第 5 回	取引の仕訳と勘定への記入	事前学習	借方、貸方に記入される勘定を覚える。
		事後学習	仕訳帳と総勘定元帳の記帳方法を知る。
第 6 回	精算表 (6 桁) の作成	事前学習	残高試算表と B/S と P/L の記入をし、残高試算表と他の二つが連結することを理解する。
		事後学習	元帳の残高～精算表を作成し、縮切法も知る。
第 7 回	元帳決算 (元帳の縮切)	事前学習	元帳の閉め切の手順を理解する。
		事後学習	純利益を資本金に振替える手続きを覚える。
第 8 回	記帳練習 (上記の練習問題)	事前学習	記帳の仕方を調べてくる。
		事後学習	記帳練習を復習する。
第 9 回	工業簿記の基礎 (特色)	事前学習	工業簿記の特色を調べる。
		事後学習	工業簿記の記帳の対象をまとめる。
第 10 回	原価の 3 要素	事前学習	原価の要素には何があるか調べる。
		事後学習	原価の 3 要素とは何かをまとめる。
第 11 回	原価と原価計算	事前学習	原価計算期間、原価計算の分類を調べる。
		事後学習	原価の構成、発生携帯・製品・操業度から分類する。
第 12 回	工業簿記の構造	事前学習	原価要素の処理方法について調べる。
		事後学習	製品完成から販売にいたる処理をまとめる。

第13回	工業簿記総合復習問題1	事前学習	総合復習練習1を解答する。
		事後学習	総合復習練習1を解説する。
第14回	工業簿記総合復習問題2	事前学習	総合復習練習2を解答する。
		事後学習	総合復習練習2を解説する。
第15回	現金と預金	事前学習	現金・預金の範囲を調べる。
		事後学習	小口現金出納帳などの記帳法を理解する。
第16回	債権・債務処理	事前学習	債権・債務の種類を調べる。
		事後学習	各種関連問題の記帳練習をし、理解を深める。
第17回	商品有高帳	事前学習	各種処理方法の知識を整理する。
		事後学習	売上原価、期末商品棚卸高の金額を確かめる。
第18回	約束手形と為替手形	事前学習	手形の種類と約手・為手の違いを調べる。
		事後学習	仕訳練習により、両者の違いを理解する。
第19回	減価償却	事前学習	減価償却の意義を知っておく。
		事後学習	計算方法と仕訳方法を理解する。
第20回	貸倒れの見積り	事前学習	貸倒れの意味を調べる。
		事後学習	差額補充法を理解できるようにする。
第21回	有価証券の処理	事前学習	時価主義による評価替えの必要性を調べる。
		事後学習	処理方法を具体的な問題練習で知っておく。
第22回	商品評価損と棚卸減耗損	事前学習	期末実地棚卸による商品の金額を修正する意味を知っておく。
		事後学習	商品評価損と棚卸評価損の計算法を覚える。
第23回	売上原価の計算と期末修正仕訳	事前学習	商品勘定3分法による売上原価の計算の必要性を知っておく。
		事後学習	仕入勘定で売上原価を計算するための修正仕訳をしっかりと理解しておく。
第24回	決算整理事項の総括	事前学習	決算修正仕訳の種類を列挙する。
		事後学習	各種の決算修正仕訳を知る。
第25回	費用収益の見越しと繰延べ	事前学習	期間損益計算の必要性を調べる。
		事後学習	見越しと繰延べの意味と整理仕訳を理解する。
第26回	決算産整理事項の仕訳から精算表への記入	事前学習	精算表への修正記入項目の整理をする。
		事後学習	精算表の作成方法を理解する。
第27回	8桁精算表の作成	事前学習	修正欄への記帳練習をする。
		事後学習	精算表の各種締め切り方法を理解する。
第28回	精算表の記帳練習1	事前学習	精算表の作成書式の違いの練習をする。
		事後学習	締め切り方法の違いがあることを覚える。
第29回	精算表の記帳練習2	事前学習	精算表の出題問題には、逆進問題があるため、この解き方を練習する。
		事後学習	全体的な精算表の解き方を知ることが出来る。
第30回	精算表の記帳練習3	事前学習	8桁精算表の総合問題を練習する。
		事後学習	8桁精算表の全体的な問題に対応できるようにする。
期末試験			